

1. 会議名 南部町子ども・子育て会議（平成30年度）	
2. 日時 平成31年2月19日（火）19時00分～20時40分	
3. 場所 健康管理センターすこやか1階会議室	
4. 出席者 <委員>南部町子ども・子育て会議委員9名 <事務局>町長、子育て支援課課長、子育て支援課課長補佐、子育て支援課主幹、子育て支援課主任、教育委員会事務局総務・学校教育課課長補佐	
5. 次第 1 開会 2 町長挨拶 3 自己紹介 4 会長・副会長選出 5 議事 (1) 教育・保育の提供体制の確保状況について (2) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況について (3) その他 6 閉会	
6. 配布資料 <事前配布>会議次第 資料1：教育・保育の提供体制の確保状況について 資料2：地域子ども・子育て支援事業の実施状況について 資料3：南部町子どもの広場整備計画（案）「こんな遊び場をつくろう」 資料4：第2期南部町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査について	
7. 会議内容	
子育て支援課課長	1 開会
町長	2 町長挨拶 南部町 11,000 人の人口で待機児童を生み出さないのが目標。今年は花回廊で 100 人を超える方たちと成人式を迎えた。20 年後は半減すると思われるので、この状況をいかに歯止めができるかが課題となっている。平成 31 年度は第 1 期子ども・子育て計画の最終年度となっている。皆さんの意見を聴きながら、一歩進んだ子ども・子育て支援事業計画をつくりたい。
子育て支援課課長	3 自己紹介
子育て支援課課長	4 会長・副会長選出 会長：野口高幸委員

	<p>副会長：國本英子委員 議事の進行は会長にお願いしたい。</p>
事務局（説明）	<p>5 議事</p> <p>(1) 教育・保育の提供体制の確保状況についての説明 【資料1：教育・保育の提供体制の確保状況について】</p> <p>平成30年度の状況は、3歳～5歳児については、年度中途の入所希望にも待機なく応じることができている。0歳児については、女性の社会進出の増加などにより入所ニーズが年々高まっており、保育士不足のため、受入人数の確保ができず待機児童が発生している。1歳～2歳児についても、0歳児と同様、保育士不足により待機児童が発生しており、年度途中からの入所が難しい状況になっている。平成31年度は待機児童解消のため、小規模保育園の開設と、西伯病院の事業所内保育所に地域枠を設けて、保育ニーズに対応できるよう努める。</p>
会長	<p>今の説明について、質問等はあるか。</p>
会長	<p>西伯小では全校児童が300人をきるのではないかという状況になっている。300人をきると教員の割り当てが減る。人口が安定して定住できるような施策をみんなで考えていきたい。</p>
委員	<p>資料1の中の1号認定の幼児期の学校教育とはどういうことですか。</p>
事務局	<p>文科省と厚労省の違い。1号認定は昔でいう幼稚園、いわゆる学校の分類となって文科省の管轄となっており、誰でも入園ができる。保育園は厚労省の管轄で、保護者が保育に欠ける状態でないと入園ができない。</p>
事務局（説明）	<p>(2) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況について 【資料2：地域子ども・子育て支援事業の実施状況について】</p> <p>①利用者支援事業 すこやか1か所で保健師と子育て支援員が2事業をしているため、計画書は2か所実施の記載となっている。</p> <p>②地域子育て支援拠点事業 平成29年度は保育所の待機児童が多かったため、拠点事業の利用者が</p>

	<p>増えた。平成 31 年 4 月からのびのびとあいあいの 2 つの拠点を統合することとしていたが、小規模保育事業を開始することとなったため、改修工事により平成 31 年 1 月 28 日をもってのびのびは閉館した。低年齢からの入所傾向が増えており、拠点の利用は今後減ることが見込まれる。</p> <p>③妊婦健康診査 母子健康手帳を交付する時に妊婦健診の受診券を交付している。最大 14 回までの助成を行っている。</p> <p>④乳児家庭全戸訪問事業 生後 4 ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問している。今後も出生の全数訪問を目指す。</p> <p>⑤養育支援訪問事業 赤ちゃん訪問等で、支援が必要とされた家庭に、保健師、助産師、保育士等が育児や家事援助、育児の相談などを行っている。 支援が必要な家庭的確な把握と体制整備に努め、関係機関と連携した早期の支援体制の構築に努める。</p> <p>⑥ショートステイ 保護者の事情で子どもをみるできないときに、児童養護施設に預けられるような体制を整えている。今年度利用実績はないが、何かあった時に使えるように今後も体制を継続する。</p> <p>⑦ファミリー・サポート・センター事業 すみれこども園で一時保育を始めたため、利用実績が減っており、今年度は利用実績がない。これまで社協に委託していた事業であったが、のびのびが閉館となるため、平成 31 年度から直営に変更する。PR や時間外の受入、潜在的な受け入れニーズを検討して、対応をしていく予定。</p> <p>⑧一時預かり事業 平成 29 年度は保育士不足のため、利用時実績が減ったが、平成 30 年度は保育士確保ができたため、利用が増えた。今後もニーズに応えられるよう、受け入れ体制の確保に努める。</p>
--	---

	<p>⑨延長保育 保育時間を超えて利用が必要な家庭が延長保育を利用されている。町内保育園は2か所、つくし保育園とさくら保育園で実施している。短時間の利用を超える延長保育は、4園で実施している。</p> <p>⑩病児・病後児保育事業 町内は西伯病院で1か所、町外は米子市3ヶ所で事業実施している。平成26年度から3年間は利用料を無料としていたが、平成29年度から利用料は1,000円で実施している。平成28年度をピークに実績が減っているのは1,000円となったためと捉えている。また、平成30年度は保育士の確保ができなため、西伯病院の病児・病後児保育を休所としている。</p> <p>⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） 町内3ヶ所で実施している。法勝寺児童館が開館してから夏休みのみ法勝寺児童館でも学童を実施している。保護者の就労形態の変化により需要がある事業のため、児童館とも連携して引き続き事業を継続していく。</p> <p>⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業 南部町では実施しておらず県内でも実施しているところはない。今後も国や県の状況を見ながら検討する。</p> <p>⑬多様な事業者の参入促進事業 新たに参入する事業者への支援が対象だが、町内に該当なし。必要に応じて検討する。</p> <p>会長 今の説明について、質問等はあるか。</p> <p>会長 事務局 (3)の事業の量の見込みが減っているのはなぜか。 出生見込数に受診回数14回が乗じてある。出生見込数が減っているためである。</p> <p>会長 減っているとなぜかと思う。記載の工夫をしてほしい。</p> <p>委員 (4)(5)の事業は乳幼児の家庭訪問をする事業と捉えてよいか。 また、児童虐待など南部町でも事例があるか。</p>
--	--

事務局	そのように捉えてもらってよい。
委員	また、児童虐待については様々なケースがある。
事務局	子どもが成長していく中で、いまニュースになっているようなことにもつながる。PTA なども入ってくればよいのでは。危機感が薄い。
会長	学校や行政機関、児童相談所等、関係機関と連携をとってケース会議を行っている。繊細な問題で個人情報のこともあり、PTA に入ってももらうことはできない。
会長	学校と関係機関を信頼してもらいたい。PTA が関係していくことはないと思っている。
事務局	(10) の病児・病後児保育の、西伯病院が休所となっているのはなぜか。利用者がいないからか。
会長	保育士不足で休所している。
委員	町として受け入れ先があるという PR など、今後の方針として担当課としてどうされる予定か。町としてこのような施設があるのは安心だと思う。
町長	大山町に嫁がれた方が、南部町は西伯病院があってよいと言っていた。近くに病児・病後児の施設があれば町民の方は安心される。
委員	現在、西伯病院の病児・病後児保育は町の直営でやっている。保育士と直接町が契約しないといけない。現在1部屋しかなく、感染症によっては部屋を分けないといけない。そうなるとベアーズなどに頼んでみてもらった方が安心される。
事務局	かるがも、ペンギンハウスの場所はどこにあるか。
委員	かるがもは博愛病院、ペンギンハウスはせぐち小児科にある。
事務局	保護者の意見として、ベアーズは予約がとれて便利と言っておられる。西伯病院は予約ができない。
会長	ベアーズなどは、病児・病後児保育専用の施設をつくっておられる。西伯病院は1名しか利用ができない。
町長	休所という形でなくて、やめてしまったらどうか。ニーズが高まった時点で開所していくということか。
事務局 (説明)	保育士の確保ができないのも理由の一つとなっている。
	(3) 南部町子どもの広場整備計画 (案) について 【資料3: 南部町子どもの広場整備計画 (案) 「こんな遊び場をつくろう」】 平成 29 年度と平成 30 年度に合計 9 回の座談会を開催。コーディネー

	<p>ターにも入ってもらい、保護者の意見をくみ取りながら話を進めた。</p>
委員	水やりが大変と言っておられたが、芝生はするか。
事務局	水道を引っ張って水やりができるようにする。
委員	遊び場の話が出てからできるまでが長い。保護者には来年頃できるのではないかと話しているが。
町長	つくるのではなく、みんなに参加してつくってもらいたいというイメージ。
委員	遊び場 MAP の、携帯の QR コードで読み込むのは保護者に評判がよい。駐車場の情報もみられるのか。
事務局	集落の公園なので、基本的には駐車場はない。
会長	公園の管理はどうされる予定か。芝の管理は、小学校は地域の 7 団体をお願いして管理をしている。
事務局	芝の管理は募集をかける予定。地域の方にも協力をしてもらうよう話をしている。
会長	スプリンクラーはつけるか。
事務局	スプリンクラーはつかない。移動式のスプリンクラーを置く予定。水やりなどはボランティアの方をお願いしようと思っている。
会長	地域の力を借りないとしんどいと思う。使う方がチームをつくって管理をしてもらうなど。
委員	児童館には、資料 3 の①異年齢が楽しめる、②自然を活かす、③既存のものを活かす、のすべてがある。安心の担保もある。のびのびが閉鎖になったおかげで、親子連れが増えている。今日も 7 組の利用があった。もっと児童館を活用していただく形で町にはやってもらいたい。児童館には伸びしろがまだいっぱいある。
町長	使ってもいいのか、どこに車を停めていいのか、情報発信をもっとうまくつかっていけばよいと思う。皆さんに情報をもっと提供していくべき。
委員	児童館に来られる方は町内の人か。
委員	町内の人でも町外の人もいる。町外の人には南部町の PR をしている。口コミで評判が広がっている。
会長	新しいものをつくるという楽しさと、既存のものをつかうということで、町には両輪でやってほしい。
会長	(4) 第 2 期南部町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査について

	<p>【資料 4：第 2 期南部町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査について】</p>
町長	<p>前回のアンケートについて、全部目を通させてもらったが、アンケートが長いという意見があった。</p>
会長	<p>アンケートをとる目的、アンケートをとって何をするか。アンケートに答える人が期待をもてるプランがなければしんどい。前向きに取り組めるようなアンケートにしてもらいたい。</p>
町長	<p>検討し直してみてもどうか。このアンケートではどこに意見が反映されたかが言いにくい。手間がかかりすぎている。できるだけ必要な項目にしぼったほうがよい。</p>
会長	<p>アンケートで期待にこたえられることがよい。一旦保留して、見直しをする方向でお願いしたい。</p>
会長 事務局（説明）	<p>その他について、事務局から何かありますか。 近年子どもの数は減っているが、保育士不足や低年齢から預ける人が増え、待機児童が増えた。昭和 50 年代から建っている保育園もあり、伯耆の国の指定管理期間もあと 3 年で終わる。今後の保育園のあり方を検討していかないといけない時期になっている。この会で検討をしていただきたい。</p>
会長	<p>4 園でいくのか、統廃合していくのか、この会で検討していくということによいか。回数が増えるが、この会で検討していくのがこの会の役目だと思う。</p>
会長	<p>子ども・子育てのアンケートは時間的な都合もあり、担当課で検討していただき送っていただく。事前に委員の皆さんにも個別に目を通してもらい意見をいただく。</p>
子育て支援課長	<p>閉会</p>